

平成 年 月 日  
午 時 分 受領

平成19年9月11日

福島町議会議長 溝部幸基様

福島町議会議員 1番 佐藤卓也 ㊟

## 一般質問通告書

第3回定例会において、次の件について質問したいので、会議規則第61条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
漁港からの杉の丸太の搬出について	<p>9月4日の北海道新聞の記事によれば、福島漁港からスギの丸太を初搬出という記事がありました。このことは、道南スギの利用拡大や漁港の利用促進につながるため歓迎すべきことだと思います。</p> <p>しかし、福島町のスギだけであれば来年春に終了してしまう可能性があります。森林組合では「将来は渡島西部の木材の搬出の拠点にしたい」、村田町長は「漁港のこうした利用で、地域の活性化につなげていきたい」と話されていますが、具体的に渡島西部四町間でどこまで話が進んでいるのでしょうか。具体的な計画を教えてくださいますよう宜しくお願い申し上げます。</p>	町長

- 注) 1 質問の要旨は、簡潔明瞭に記載すること。なお、記載外については、質問できません。  
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">企業誘致について</p>	<p>福島町出身の若者が福島町に帰りたくても働く場所がないと聞きます。人口が毎年約200人減少している昨今、地域の活性化・雇用の確保は緊急不可欠なものと考えます。</p> <p>北海道新聞の記事によれば、高橋知事は、従来の中央省庁への陳情ではなく、本州企業への挨拶まわりや海外へのトップセールスをしています。</p> <p>福島町では、町長の任期4年8ヶ月間で企業誘致への陳情はどれくらいされたのでしょうか。ご答弁宜しく願いいたします。</p>	<p>町長</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">福島商業高校存続対策について</p>	<p>福島商業高校が平成20年度～22年度まで函館商業高校の地域キャンパス校として存続延長されました。しかし、1学年20人を下回った場合は統廃合の対象になるため、近い将来入学者数によって閉校になる可能性が大きいと思います。</p> <p>そこで、函館市内の道立高校を親校とし、木古内高校と福島商業高校を地域キャンパス校として活用し、各校に特色ある学科を創設、または福島商業高校への専門学校併設や大学の附属施設にするという案はいかがでしょうか。</p>	<p>町長 教育長</p>